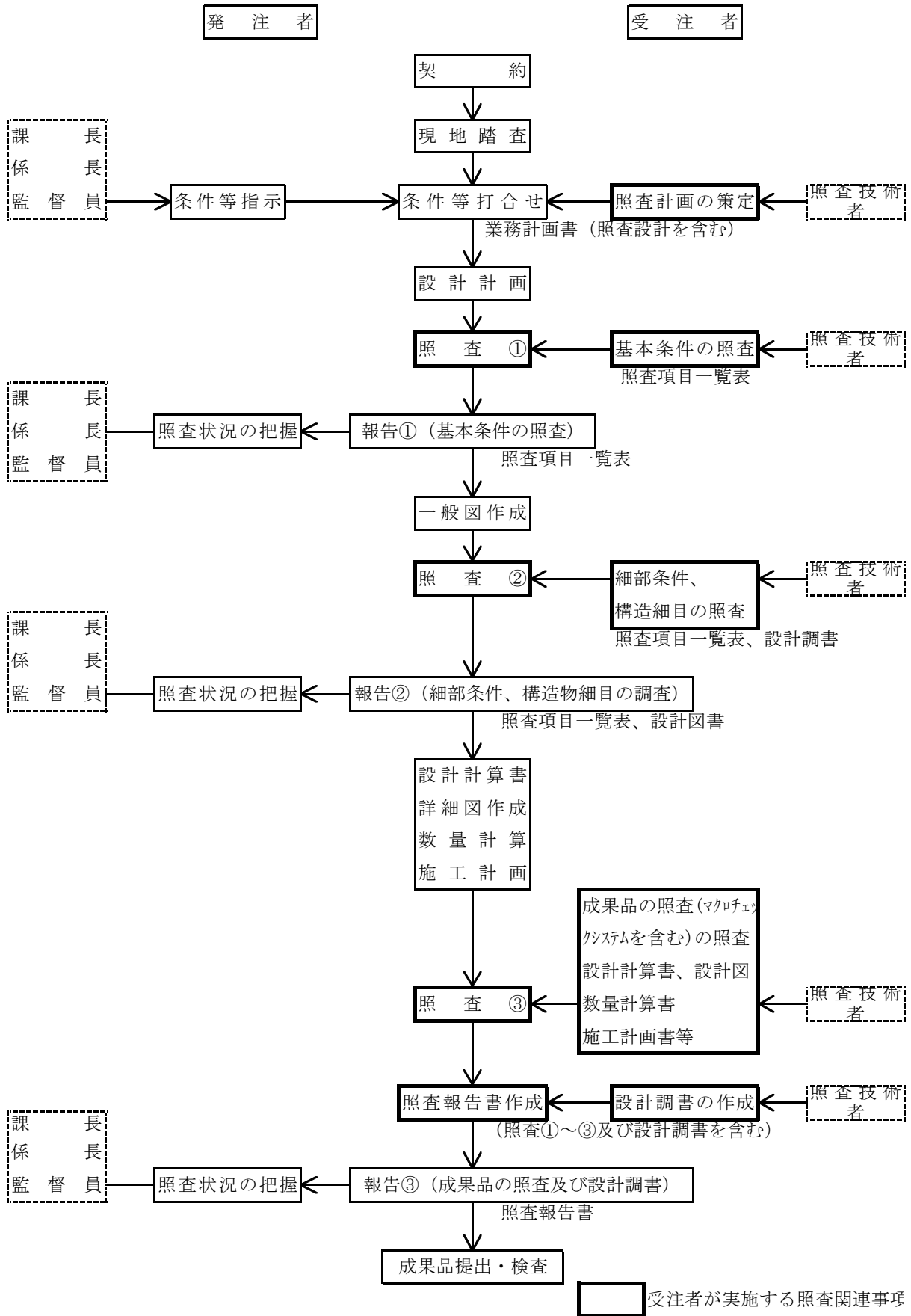


道路詳細設計照査要領

(平面交差点、小構造物を含む)

平成31年4月

道路詳細設計照査フローチャート



注 記 ※ 照査②の段階より、設計調書の有効活用を図る。
 ※※ 行程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。

基本条件の照査項目一覧表

(照査 ①)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
1	設計の目的、主旨、範囲	1) 設計の目的、主旨、範囲を把握したか。					
		2) 地域構想（自転車道整備ネットワークやバリアフリー特定経路等）、関連計画（沿道開発、関連道路の改良計画等）等について把握したか。					
		3) 設計の内容、工程等について具体的に把握したか。特記仕様書との整合は確認したか。または、管理表を提出し内容を発注者と確認したか。					
		4) 技術提案がある場合は、業務計画書に技術提案の内容が反映されているか。					
2	貸与資料の確認	1) 貸与資料は最新版であるか確認したか。また、不足点及び追加事項があるか確認したか。不足がある場合には、資料請求、追加調査等の提案を行ったか。					
		2) 申し送り事項を確認したか。					
		3) 基準・要領等があるか。また、最新版であるか確認したか。					
		4) 最新の用地資料（幅杭、用地平面図等）はあるか。					
		5) 条件明示チェックシートは確認したか。					
3	現地踏査	1) 地形、地質、気象、用・排水、土地利用状況（用地）、保安林や土砂災害指定地等の各種指定区域の有無を把握したか。また、道路排水の接続先について確認したか。					
		2) 沿道状況（取付道路、取付坂路含む）、交通状況（自転車、歩行者含む）、道路利用状況（通学路指定の有無、歩道構造、乗入部含む）、河川状況等を把握したか。					
		3) 近接して施設及び人家等がある場合、盛土に伴う引込み沈下による影響の懸念がないか確認したか。					
		4) 社会環境状況を把握したか。（日照、騒音、振動、電波状況、水質汚濁、土壌汚染、動植物、井戸使用等） また、環境調査等の資料の有無を確認し入手したか。					
		5) 台帳等を入手したうえで、支障物件の状況を把握したか。（地下埋設物：下水、水道、ガス、電力、NTT、通信、共同溝 等及び架空線、樹木、名勝、旧跡、埋蔵文化財等）					
		6) 施工計画の条件に係わる現地状況を把握したか。（ヤード、工事用水、濁水処理、工事用電力、工事用建物敷地、交通条件、進入路、周辺関連工事の進捗状況等）					
		7) 施工済み構造物について工事完成図面は確認したか。また、現地状況は整合しているか。					
		8) 発注者と合同で現地踏査を実施したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目 について○印を 記入		
4	設計基本条件	1) 設計に使用する技術基準、参考図書や各自治体における条例等を確認したか。また、最新版であるか確認したか。					
		2) 整備計画（暫定計画・部分供用の有無等）を確認したか。					
		3) 道路構造（道路区分、計画交通量、設計速度、横断面、建築限界等）が道路構造令等に適合することを確認したか。					
		4) 飛地や用地分断等、用地図から機能補償道路に漏れないか確認しているか。					
		5) コントロールポイント条件は整理されているか。					
		6) 関連する最新の設計成果と整合がとれているか。また、既往の設計を基に詳細設計（修正設計）を行う場合、過年度経緯を確認し成果の照査を行ったか。					
		7) 既往調査結果より、地質、地盤の性状及び地下水状況は確認したか。					
		8) 測量成果の内容（測量座標系と座標、高さの基準と地形図、線形との整合、震災補正の状況）などを確認したか。					
		9) 積雪寒冷地、およびその度が甚だしい地域の適用が適正か。					
		10) 休憩施設、チェーン着脱場等の計画は確認したか。					
		11) 施工時を含め、作用する荷重条件を確認したか。					
		12) 道路土工について、影響する作用、要求性能、重要度について確認したか。					
		13) 盛土の重要度及び要求される性能は決定しているか。					
5	幾何構造、線形条件	1) 平面・縦断線形の採用値及び縦断・横断視距の確保は適切か（積雪寒冷地の適用の有無）。組み合わせは適正か。また、修正設計の場合、設計条件のどの部分が変更となったか確認したか。					
		2) 幾何構造の使用値（歩道の有無、車線幅員、片勾配、視距等）は適正か。					
		3) 積雪寒冷地等の場合、積雪寒冷地等の地域特性を踏まえた幾何構造の使用値となっているか。					
		4) 隣接工区や土工、橋梁、トンネル等との取合い（路肩摺り付け、翼壁、排水処理、構造物掘削等）を配慮したか。					
		5) 幅員の決定根拠は明確で適正か。（道路規格との適合、積雪寒冷地の適用及び堆雪幅、道路付属施設に配慮した有効幅員の確保な					
		6) 函渠工の上部では排水施設や通信管路等埋設物、防護柵の設置に必要な土被りが確保されているか。					
		7) 交差施設との交差条件は明確か。（交差方法、交差角、幅員、建築限界、余裕高など）					
		8) 分合流部の幾何構造採用値は適正か。また、分流部のオフセットについて確認したか。					
6	施工条件	1) 工事時期と工程及び施工手順を確認したか。					
		2) 暫定施工時の施工区分を把握したか。					
		3) 現道拡幅時の施工区分を把握したか。					
		4) 施工計画に関する既存資料を入手・確認したか。					
		5) 施工に支障となる旧施設の撤去条件を確認したか。					
		6) 近接構造物等への影響を考慮する必要があるか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にわたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
7	土工及び法面工	1) 土質定数（湿潤重量、飽和重量など）の設定、地下水位、湧水状況等の把握は適正か。また、地質データが不足する場合、追加調査の提案等を行ったか。					
		2) 切土に対するのり面勾配及び小段の勾配、位置、幅、ラウンディング形状は適切か。					
		3) 盛土に対するのり面勾配及び小段の勾配、位置、幅は適切か。					
		4) 切土あるいは盛土による斜面の安定検討は必要か。					
		5) 切土材料は盛土材料に転用できるのか。					
		6) 法面対策工法の必要性について整理しているか。					
		7) 土砂の処理場や採取場及び土運搬経路の把握はしてあるか。					
		8) 環境や景観に関して考慮しているか。					
		9) 盛土材の設計条件は適切か。 ・盛土材料の使用区分、建設発生土利用（スレーキング材、高含水材等）への配慮 ・盛土材物性値（路体盛土の土質定数、路床盛土のCBR）					
		10) 土質定数は函渠工・擁壁工設計との整合性を考慮して設定しているか。					
8	軟弱地盤対策工	1) 軟弱地盤の分布について調査・確認されているか。また、存在する場合、対策の必要性、工法等が整理されているか。					
		2) 盛土の施工期間及び施工方法（迂回路計画等）は決まっているか。					
		3) 盛土施工厚と施工工程とのバランスがとれているか。（緩速盛土、プレロード及びサーチャージ工法等の地盤強度増加と施工時及び完成後の盛土の安定性）					
		4) 残留沈下量と交通解放時期の基本方針は決定しているか。					
		5) 地質調査は目的にあった調査、解析をしているか。					
		6) 盛土材の土質試験はしてあるか。また、その土質定数は把握しているか。					
		7) 軟弱地盤解析項目（円弧すべり、圧密沈下、液状化）の許容値は適正か。また、周辺の土地利用を考慮した許容値としているか。					
		8) 軟弱地盤上に設置される函渠の場合、残留沈下量に対する内空断面の対策は考慮されているか。					
		9) 環境、用地に対する制限はないか。また、影響を検討する家屋や施設、地下埋設物はないか。					
		10) 置き換え残土の処理場はあるか。					
		11) 側方流動の影響を受ける構造物（擁壁、橋台等）及び沿道施設はないか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象 項目を抽出し○印 を記入		
9	函渠工	1) 標準設計の適用方法は適正か。					
		2) 同上を適用しないときは応力計算が必要か。					
		3) 従来型カルバートの適用範囲内か、また、重要度区分、要求性能は決定しているか。					
		4) 耐震設計が必要な場合、設計手法は適切か。					
		5) プレキャスト製品の適用方法は適正か。市場性や地域性を考慮しているか。また、隣接工区での使用状況等を確認したか。					
		6) 施工条件を考慮しているか。					
		7) 縦断方向のすべりに対する対策は必要か。					
		8) 縦断方向（構造物方向）の設計の必要性は確認したか。					
		9) 踏掛版の必要性を確認したか。（ヤード、資機材運搬路等）					
		10) 函渠内、函渠頂版上部の防護柵の必要性を確認したか。					
		11) 土被りの条件は妥当か。土被りの変化が大きい箇所での断面変化は考慮してあるか。					
		12) 土質定数の決定根拠は明確になっているか。					
		13) 地盤条件(支持力、地下水位等)は整理してあるか。					
		14) 縦断・横断方向に地盤が変化している場合における対策を確認したか。					
		15) 設計計算の条件は妥当か。計算式の適用は確認されているか。（プログラム等）					
		16) 適用する設計基準は確認されているか。					
		17) 躯体の延長やウイングの形状（高さ、長さ、巻き込みとの取り合い）の決定根拠は適正か。					
		18) 内空断面（幅員、建築限界、河川条件、函渠内舗装、路面排水施設、占用物件（証明、水道、ガスなど）、片勾配、照明、平面形状、縦断勾配の設定は適正か。					
		19) 塩害に対する検討の必要性を確認したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目 について○印を 記入		
10	擁壁及び補強土壁	1) 所要高さ決定の根拠は適正か。道路線形との整合はとれているか。					
		2) 種別・型式選定の根拠や適用範囲（高さ、延長、地形条件等）は適正か。					
		3) 線形の変更、用地の利用、擁壁構造変更等によって擁壁の規模縮小が可能か。また、工夫を行う余地があるか。					
		4) 標準設計の適用方法は適正か。（擁壁形式、高さ、地盤条件、背面土の形状）					
		5) 同上を適用しないときは応力計算が必要か。					
		6) 耐震設計が必要な場合、設計手法は適切か。					
		7) プレキャスト製品の適用方法は適正か。市場性や地域性などを考慮しているか。また、隣接工区での使用状況等を確認したか。					
		8) 用地境界までの余裕幅を確認したか。					
		9) 土質定数の決定根拠は明確になっているか。					
		10) 基礎型式選定のための地盤条件は整理されているか。					
		11) 施工条件（現道交通、施工ヤード、資機材運搬路）を考慮しているか。また、遮音壁、落下物防止柵、標識、照明等の設置条件を考慮しているか。					
		12) 全体的なすべりの安定性確認は必要か。					
		13) 適用する設計基準は確認されているか。					
		14) 擁壁の重要度区分、要求性能の設定は適切か。					
		15) 衝突荷重を見込む構造か。遮音壁は設置されるか。また、その場合の風荷重は適正か。					
		16) 地覆、高欄、防護柵、転落防止柵は適正か。					
		17) 塩害に対する検討の必要性を確認したか。					
		18) 根入れやフーチング上の土被りは適正か。（交差条件等）					
11	排水工	1) 降雨強度、確率年、算定式、流出係数、粗度係数の設定は適正か。					
		2) 通水量の算定は妥当か。（粗度係数等）					
		3) 下流への影響の有無について考慮しているか。					
		4) 路肩側溝や横断管などの排水施設の選定は妥当か。（経済性、施工性、機能性、計画性、維持管理）					
		5) 断面余裕の設定は適正か。					
		6) 排水勾配（流速の許容範囲）は妥当か。					
		7) 最小土被りの設定は妥当か。					
		8) 協議が必要となる関連機関、協議事項について整理・把握されているか。					
		9) 地下排水工（地下排水溝、水平排水層、基盤排水層等）や盛土内水平排水工は適切に設置されているか。また、地盤条件は考慮しているか。					
		10) 排水構造物は排水性舗装に適合しているか。					
		11) 地下埋設物との調整（占有者との協議を含む）は確認したか。					
		12) プレキャスト製品の適用方法は適正か。市場性や地域性などを考慮しているか。また、隣接工区での使用状況等を確認したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目 について○印を 記入		
12	用排水処理	1) 用水系統は適正か。また、用水路の統廃合について、土地改良区や地元での聞き取り調査等、関係者との調整は整っているか。					
		2) 排水系統は適正か（曲線部の片勾配高さを反映）。また、水路管理者等と構造及び用地の区分について調整を行っているか。					
		3) 盛土構造の基盤排水、法尻排水は適正か。また、切盛境、片切片盛り、沢部盛土等の排水処理は適正か。					
		4) 調整池や油水分離槽設置の必要性や関係機関との協議結果を確認したか。					
		5) 流末協議（放流先や途中の既設水路）は適正に実施されている設計条件を確認したか。（交通量区分、舗装の設計期間、舗装の種類、疲労破壊輪数、舗装計画交通量、信頼度、設計CBR、必要TA、適用箇所、寒冷地域の凍結深さ等）					
13	舗装工	1) 仕様規定か性能規定を確認したか。					
		2) 規定条件を満足しているか。					
		3) 再生材の使用は考慮されているか。また、再生材は所定量入手可能か確認したか。					
		4) 特別箇所（軟弱地盤、低盛土等）の路床改良の要否を確認したか。					
		5) 路盤材料は市場性や地域性などを考慮しているか。また、隣接工区での使用状況等を確認したか。					
		6) 標準設計の適用方法は適正か。					
14	小構造物	1) 重力式擁壁、ブロック積等を設ける理由、型式高さ等決定根拠は明確か。また、ブロック積の適用条件（切盛、荷重の有無）に問題はないか。					
		2) プレキャスト製品の適用方法は適正か。市場性や地域性などを考慮しているか。また、隣接工区での使用状況等を確認したか。					
		3) 設計が必要な付属施設や道路施設は確認されているか。					
15	付属施設	1) 配置及び規格は適正か。建築限界との整合が図られているか。					
		2) 種別及び設置条件は適正か。					
		3) 設置のための事前調査は実施されているか。					
		4) 防護柵の要否、設置基準の確認、種別の選択、設置条件、標準仕様の適用等は適正か。					
		5) 景観、環境及び歩行者の安全に配慮されているか。					
		6) 幅員、延長、断面、道路幾何構造は適正か。					
16	関連道路(側道、副道、取付交通)	1) 沿道に対する高さ等の取合は考慮してあるか。					
		2) 舗装構成は決定しているか。					
		3) 関連協議で必要事項は確認されているか。					
		4) 雪崩、地吹雪対策は考慮する必要があるか。					
17	防雪対策	1) 雪況調査は実施されていたか。					
		2) 対策工設置のための用地を設定したか。また埋設物や支障物件を確認したか。					
		3) 雪崩、地吹雪対策は考慮する必要があるか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入		
18	関連機関との調整	1) 関連機関（関係諸官庁、諸機関）との調整内容を確認したか。					
		2) 河川協議、海岸・地すべり防止・土砂災害警戒区域等との協議、近接・交差協議、流末協議は適切に実施されているか。					
		3) 地権者及び地元等の調整内容を確認したか。					
		4) バス路線になるかどうか確認したか。					
		5) 占用者との調整内容を確認したか。					
		6) 砂防指定、保安林及び埋蔵文化財等との調整は確認したか。					
		7) 各県公害防止条例等（土壌汚染対策法等）の適用区域及び規制値を確認したか。					
		8) 都市計画、土地利用、用途地域、借地の有無等を確認したか。					
		9) 配慮すべき法令は確認したか。					
		10) 発生土受入地、または土取場の位置、規模は確認したか。					
19	環境及び景観検討	1) 環境影響評価法、長野県環境配慮制度等に基づく環境保全措置等の配慮すべき事項を確認したか。					
		2) 景観検討の必要性、方針、内容、範囲等を理解したか。また、遮音壁等の設置要件（位置、基礎構造）に問題はないか。					
		3) 景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。					
20	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書を確認したか。					
21	建設副産物対策	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画書を確認したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入		
1	設計の目的、主旨、範囲	1) 設計の目的、主旨、範囲を把握したか。					
		2) 自転車道整備ネットワークやバリアフリー特定経路等、地域の計画を把握したか。					
		3) 設計の内容、工程等について具体的に把握したか。特記仕様書との整合は確認したか。また、スケジュール管理表を提出したか。					
		4) 技術提案がある場合は、業務計画書に技術提案の内容が反映されているか。					
2	貸与資料の確認	1) 予備設計の計画は適正か。					
		2) 貸与資料は最新版であるか確認したか。不足点及び追加事項があるか確認したか。また、不足がある場合には、資料請求、追加調査等の提案を行ったか。					
		3) 申し送り事項を確認したか。					
		4) 基準・要領等はあるか。また、最新版であるか確認したか。					
		5) 長野県公安委員会の運用・手引の有無を確認したか。また、最新版であるか確認したか。					
		6) 最新の用地資料（幅杭、用地平面図等）はあるか。					
		7) 条件明示チェックシートは確認したか。					
3	現地踏査	1) 地形、地質、気象、用・排水、土地利用状況（用地）、浸水想定区域や土砂災害指定地等の各種指定区域の有無を把握したか。また、道路排水の接続先について確認したか。					
		2) 沿道状況（取付道路、取付坂路含む）、交通状況（自転車、歩行者含む）、道路利用状況（通学路指定の有無、歩道構造、乗入部含む）、河川状況等を把握したか。					
		3) 交差道路の規制状況、現地の幅員構成、交差点信号現示、付加車線の滞留状況、バス停の有無、規制状況等を確認したか。					
		4) 社会環境状況を把握したか。（日照、騒音、振動、電波状況、水質汚濁、土壌汚染、動植物、井戸使用等） また、環境調査等の資料の有無を確認し入手したか。					
		5) 台帳等を入手したうえで、支障物件の状況を把握したか。（地下埋設物：下水、水道、ガス、電力、NTT、通信、共同溝 等及び架空線、樹木、名勝、旧跡、埋蔵文化財等）					
		6) 大規模交通発生施設、歩行者・自転車の動線及び滞留スペースの状況等を確認したか。					
		7) 施工計画の条件を把握したか。（施工ヤード（施工機械配置、現道切り回しヤード等）、工事用水、濁水処理、工事用電力、工事用建物敷地、交通条件、進入路、周辺関連工事の進捗状況等）					
		8) 施工済み構造物について工事完成図面は確認したか。また、現地状況は整合しているか。					
		9) 発注者と合同で現地踏査を実施したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
4	設計基本条件	1) 設計に使用する技術基準、参考図書や各自治体における条例等を確認したか。また、最新版であるか確認したか。					
		2) 過年度成果における「申し送り事項」に対して確認し、対応方法について協議したか。					
		3) 道路（本線、従道路、取付道路等）の構造、規格を確認したか。					
		4) 交差点の設計速度、既存道路の規制速度を確認したか。					
		5) 交差点形状を確認したか。					
		6) 交差点間隔を確認したか。					
		7) 方向別交通量の設定方法を確認したか。また、交通量の推計年次、完成形と暫定形の区分等は確認したか。					
		8) 交差点制御方法を確認したか。					
		9) 設計車両を確認したか。					
		10) 歩行者・自転車の動線は適正か。					
		11) 関連する最新の設計成果と整合がとれているか。また、前段の設計を基に詳細設計（修正設計）を行う場合、過年度経緯を確認し成果の照査を行ったか。					
		12) 測量成果の内容（測量座標系と座標、高さの基準と地形図、線形との整合、震災補正の状況）などを確認したか。					
		13) 自転車通行空間を考慮したか。また、自転車・歩行者の分離を確認したか。					
		14) 積雪寒冷地、およびその度が甚だしい地域の適用が適正か。					
		15) 施工時を含め、作用する荷重条件を確認したか。					
		16) 交差点付近の舗装は、耐流動耐摩耗対策を検討する必要があるか。					
5	幾何構造、線形条件	1) 平面・縦断線形（本線、従道路）の採用値や緩勾配区間の確保は妥当か。また、組み合わせは適正か。					
		2) 幅員構成は適正か。また、幅員構成上、自転車専用帯等自転車走行空間を考慮したか。					
		3) 視距、見通し距離は適正か。					
		4) 付加車線の設置は適正か。					
		5) 交差角は適正か。					
		6) 本線シフト方法は適切か。					
6	施工条件	1) 工事時期と工程及び施工手順を確認したか。					
		2) 工区割り及び段階建設、暫定施工の有無を確認したか。					
		3) 施工計画に関する既存資料を入手・確認したか。					
		4) 施工に支障となる旧施設の撤去条件を確認したか。					
		5) 近接構造物等への影響を考慮する必要があるか。					
7	関連道路（側道、副道、取付支道）	1) 主、従道路の優先関係は明確となっているか。					
		2) 副道等の取付方法は適正か。					
		3) 従道路の整備は適正か。					
8	関連機関との調整	1) 関連機関（公安委員会、道路管理者）との調整内容を確認した					
		地権者及び地元等の調整内容を確認したか。					
		3) 占用者との調整内容を確認したか。					
		4) 協議調整事項は設計に反映されているか。					
9	環境及び景観検討	1) 景観検討の必要性、方針、内容、範囲等を理解したか。また、遮音壁等の設置要件（位置、基礎構造）に問題はないか。					
10	コスト削減	1) 予備設計で提案されたコスト削減設計留意書を確認したか。					
11	建設副産物対策	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画書を確認したか。					

細部条件の照査項目一覧表
(照査 ②)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－2）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目 について○印を 記入		
1	協議関連	1) 協議は諸条件と合致しているか。					
2	設計基本条件	1) 新技術の採用について検討したか。					
		2) 新技術を採用する場合、基準等の規定を満たしていること、かつ、求める品質及び機能が確保できる工法等であることが確認できるか。					
3	一般図	1) 平面図、縦断図、横断図は設計基本条件と整合が図られているか。					
4	土工及び法面工	1) 岩盤推定線は記入されているか。また、その根拠が整理されているか。					
		2) 用地の余裕幅は適正か。					
		3) 法面保護工の選定は適正か。また、法面対策工法（アンカー、ロックボルト）の計算根拠は適正か。					
		4) 法面構造（勾配、形状、小段、排水施設等）は適正か。					
		5) 盛土に要求される性能は満足するか。					
		6) 排水対策は適正か。					
5	函渠工	1) 本体長、伸縮目地の決定方法は適正か。					
		2) 軟弱地盤上に構築される場合の鉛直土圧係数は考慮してあるか。（杭基礎などの場合）					
		3) 沈下の大きい場所での特別な処置（段落防止枕等）は考慮しているか。					
		4) 不等沈下はないか。					
		5) 斜角のつく場合の考慮をしてあるか。（斜角部の設計方法）					
		6) 踏掛版の形状、寸法は適正か。					
		7) 基礎工の選定は適正か。また、隣接する擁壁等との基礎工との整合は図られているか。					
		8) 標準設計適用以外の応力チェックはされているか。					
		9) ハンチの形状は妥当か。また、ハンチを設けない場合の部材厚は適切か。					
		10) ウイングの厚さやウイングのハンチの大きさは適切か。					
		11) 防水工および継手構造は適切か。					
		12) 照明配管、排水は考慮されているか。					
		13) 構造細目および配筋に対するチェック（使用鉄筋径、組合せ、鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック形状、スターラップ筋の加工形状等）はされているか。					
		14) 管理上の問題は残されていないか。（道路、水路等）					
		15) 現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。また、プレキャストの場合、現場条件と適用条件の整合を確認したか。					
		16) 耐震設計の方法は適正か。					
		17) 施工時の切り直し計画は妥当か。					
		18) 使用材料は明記されているか。さらに、許容応力度は妥当か。					
		19) 地下水や液状化地盤に対する検討がされているか。（浮上り検討）					
		20) 想定している埋戻土の土質定数は適切か。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にわたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
6	擁壁及び補強土壁	1) 標準設計適用以外の設計計算は実施する必要があるか。					
		2) 擁壁高さの決定、地山の取合、底面の勾配は適正か。					
		3) 背面土の適用は適正か。(施工時の安定性等)					
		4) 目地間隔は適正か。					
		5) 液状化の検討は適正か。					
		6) 基礎工の選定は適正か。また、斜面上の基礎の場合、地盤の傾斜を考慮した検討を行っているか。 ・直接基礎(地盤反力、安定、置換深さ等) ・杭基礎(杭間隔、杭種、杭径、定着方式等)					
		7) 根入れ深さは適正か(土質条件、水の影響)、斜面部での余裕幅は適正か。					
		8) 地下水、湧水等の処理について考慮してあるか。					
		9) 施工性を考えた構造となっているか。(地形その他の現場条件による機械の選定条件等)					
		10) 点検のしやすさに配慮した構造となっているか。					
		11) 維持管理に不都合が生じるおそれがある構造となっていないか。 一部の変形が全体の安定性に致命的な影響を与えるような構造となっていないか。					
		12) 特殊な構造とする場合、過去の不具合事例、被災事例の有無を確認しているか。不具合事例等がある場合、改善策について検討しているか。					
		14) 応力計算時の常時、地震時の選択は適正か。					
		15) 耐震設計の方法は適正か。					
		16) 配筋に対するチェックはされているか。					
		17) 擁壁天端に作用する荷重は適正か。(衝突荷重、風荷重等)					
		18) 地下埋設物との取り合いは問題ないか。					
		19) 構造細目は妥当か。(使用鉄筋径、組合せ、かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック形状、スターラップ筋の加工形状、補強材の長さ等)					
		20) 使用材料は明記されているか。さらに、許容応力度は妥当か。					
		21) 想定している埋戻土の土質定数は適切か。					
		7	排水工	1) 排水施設相互及び道路施設との取合いは考慮されているか。			
2) 安全対策(蓋、防護柵等)は考慮されているか。							
3) 流末はチェックされているか。(流末河川のHWLより 下の場合の対策が行われているか。)							
4) 最終流末までの流下能力、断面に不足は無いか。							
5) 排水系統図を作成しているか。また、排水系統は適正で、協議結果が反映されているか。							
6) 現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。また、管理者の指定する基準等に準じているかを確認したか。							
7) 設計区間外の施設との取合いは考慮されているか。							
8) 既設水路等の付替えは、必要に応じ切廻しを検討してあるか。							
9) 道路路面の片勾配摺付け区間において、路肩排水施設等の滞水は無いか。							
10) 排水ますと縦断サグ点との位置関係に問題はないか。							

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目 について○印を 記入		
8	舗装工	1) 舗装工の設計は適正か。(舗装材料、舗装構成、構築路床等)					
		2) 段階施工のできる設計となっているか。					
		3) 再生材の使用は適正か。					
		4) 従道路及び車輛乗り入れ部の舗装構成は適正か。					
9	小構造物	1) 標準設計適用以外のは設計計算を実施する必要があるか。					
10	付属施設	1) 設計が必要な交通安全施設(防護柵、照明施設等)、交通管理施設(情報ボックス、道路標識、マーキング等)等は確認されているか。					
		2) 標準設計図集の適用は適正か。					
		3) 道路条件(幅員、断面形状等)を確認したか。					
		4) 土質条件は適正か。					
		5) 型式及び形状の選定は適正か。					
		6) 基礎工の選定は適正か。					
11	軟弱地盤対策工	1) 土質定数は整理されているか。					
		2) 盛土工は適切か。(一般盛土部、構造物、交通、水路切り廻し対策工の必要性と工種及びその範囲は適正か。また、構造物基礎工と連動して、改良余裕幅や緩衝帯の設置を確認したか。					
		3) 盛土安定対策 ・沈下対策 ・液状化対策 ・その他					
		4) サンドマットの厚さは施工性を考慮したか。					
		5) 動態観測の計画は作成されているか。					
		6) 暗渠排水計画(形状、間隔)は適正か。					
		7) 沈下量を土量計算しているか。					
		8) 用排水路で沈下すると不都合なものはないか。ある場合はその対策は適切か。					
		9) 周辺地盤・施設に対する影響を確認し、必要に応じて対策方法を検討しているか。					
12	施工計画	1) 工区分けは適正か。(暫定施工の有無を含む) また、土量バランスや運土計画を考慮しているか。					
		2) 他事業や他工事との土配処理等の整合を確認したか。					
		3) 打合せ事項は反映されているか。					
		4) 施工方法及び手順は妥当か。また、他工区と施工時期の調整は取れているか。支障物や埋設物の撤去・移設は考慮しているか。					
		5) 暫定施工の考え方(幅員の整合、線形のすりつけなど)に問題はないか。					
		6) 工事用道路(長尺物等の搬入)の経路・勾配は妥当か。					
13	環境及び景観検討	1) 事業中、完成後の環境対策(騒音・振動、自然由来の重金属、動植物等)は妥当か。また、騒音・振動等は規制値を満足しているか。					
		2) 景観(植栽等)性は妥当か。					
14	コスト削減	1) 予備設計で提案されたコスト削減設計留意書について検討を行っているか。					
15	建設副産物対策	1) 建設副産物の処理方法は適正か。また、リサイクル計画書を考慮したか。					

細部条件の照査項目一覧表（平面交差点詳細設計）
（ 照 査 ② ）

業 務 名： _____

発 注 者 名： _____

受 注 者 名： _____

照査の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入		
1	協議関係	1) 協議は諸条件と合致しているか。					
2	設計基本条件	1) 新技術の採用について検討したか。 2) 新技術を採用する場合、基準等の規定を満たしていること、かつ、求める品質及び機能が確保できる工法等であることが確認できるか。					
3	一般図	1) 平面図、縦断図、横断図は設計基本条件と整合が図られている					
4	設計計算	1) 交通処理能力、計算方法に問題はないか。また滞留長は妥当か。 2) 用、排水の系統及び通水断面に問題はないか。					
5	詳細検討	1) 中央分離帯の設置範囲、開口部の位置及び及び構造は適正か。 2) 導流路の設計手法、隅切り及び歩道の巻き込みは適正か。 3) 路面標示は適正か。 4) 付加車線（滞留長、レーン長、本線シフト長等）の諸元は適正 5) 信号、照明、交通管理施設、防護柵等の設置計画（位置、設置スペース、建築限界）は適正か。また、信号及び交通管理施設相互の視認性が確保されているか確認したか。 6) 視覚障害者誘導用ブロックの設置方法(配置)は適正か。 7) 交通制御面で近接する交差点との整合性はとれているか。 8) 積雪寒冷地の対応は適正か。 9) 道路詳細設計と整合はとれているか。 10) 土工及び法面工の設計は適正か。（道路詳細設計と整合） 11) 小構造物及び構造物の設計は適正か。（道路詳細設計と整合） 12) 用、排水工の設計は適正か。（道路詳細設計と整合） また、交差点内のサグ位置は確認したか。 13) 舗装工の設計は適正か。（道路詳細設計と整合） 14) 用地幅は適正か。（道路詳細設計と整合） 15) 沿道出入口との高さの取り合いは確認したか。 16) 排水のための勾配、集水樹の計画位置及び流末処理は適正か。 17) 自転車・通行帯の運用方法は隣接工区等と整合しているか。					
6	交通制御、交通処理	1) 交通制御（信号、一時停止、ラウンドアバウト）及び信号制御した場合の信号現示、サイクル長、交差点需要率、歩行者横断時間は適正か。 2) 交差点交通容量は適正か。 3) 交通処理方法は適正か。 4) 横断歩道及び停止線位置は適正か。 5) バス停留所の位置、停車帯の形状等は適正か。 6) 沿道からの出入り箇所は適正か。					
7	施工計画	1) 工区分けは妥当か。（暫定施工の有無を含む） 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 施工方法及び手順は妥当か。他工区と施工時期の調整は取れているか。また、支障物や埋設物の撤去・移設は考慮しているか。 4) 暫定施工の考え方（幅員の整合、線形のすりつけなど）に問題はないか。 5) 現道交通確保の安全性に問題はないか。 6) 工事用道路（長尺物等の搬入）の経路・勾配は妥当か。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

〔道路詳細設計と重複するものは、照査の必要ない〕

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
			該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目について○印を 記入	その日付 を記入		
8	環境及び景観検討	1) 事業中、完成後の環境対策（騒音・振動、自然由来の重金属、動植物等）は妥当か。また、騒音・振動等は規制値を満足しているか。					
		2) 景観（植栽等）性は妥当か。また植栽により視認性が阻害されていないか。					
9	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書について検討を行っているか。					
10	建設副産物対策	1) 建設副産物の処理方法は適正か。また、リサイクル計画書を考慮したか。					

成果品条件の照査項目一覧表

(照査 ③)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。					
		2) 設計条件、施工条件は適正に反映されているか。					
		3) インプットされた値は適正か。					
		4) 各検討設計ケースは適切か。					
		5) 荷重、許容応力度の取り方は妥当か。					
		6) 安定計算結果は許容値を満たしているか。					
		7) 基準等との適合性確認や安定計算等は、条件が最も厳しい断面で実施しているか。					
		8) 荷重図、モーメント図等は描かれているか。					
		9) 施工を配慮した計算となっているか。					
		10) 応力度は許容値を満たしているか。また、単位は適正か。					
		11) 隣接工区との整合はとれているか。					
		12) 赤黄チェック等による指摘内容に基づき、設計計算書を適正に修正したか。					
		13) 図・表の表示は適正か。					
2	設計図	1) 打合せ事項は反映されているか。					
		2) 縮尺、用紙サイズ等は共通仕様書、または、特記仕様書と整合しているか。					
		3) 全体一般図等に必要な項目が記載されているか。（函渠、擁壁等）、（設計条件、地質条件、現場制約事項等）					
		4) 工事にあたっての留意点を記載したか。					
		5) 起点・終点は適正か。					
		6) 必要寸法、部材形状及び寸法等にもれはないか。					
		7) 使用材料及びその配置は計算書と一致しているか。					
		8) 設計図に防護柵の材料の仕様を明記しているか。（T-20対応、JIS番号、防錆処理HDZ55等）					
		9) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。（特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。） ・かぶり ・壁厚 ・鉄筋（径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置） ・鋼材形状、寸法 ・使用材料 ・その他					
		10) 鉄筋同士の干渉はないか。または鉄筋と干渉する部材がないか。					
		11) 施工に配慮した設計図となっているか。					
		12) レイアウト、配置、文字サイズ等は適切か。					
		13) 解り易い注記が記載されているか。					
		14) 赤黄チェック等による指摘内容に基づき、設計計算書を適正に修正したか。					
		15) 図面が明瞭に描かれているか。（構造物と寸法線の使いわけがなされているか。）					
		16) 工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					その日付を記入		
3	数量計算書	1) 数量計算は、数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。 (有効数字、位取り、単位、区分等)					
		2) 数量計算に用いた寸法、数値、記号は図面と一致するか。					
		3) 数量取りまとめは、種類毎、材料毎に打合せ区分にあわせてまとめられているか。					
		4) 数量計算の根拠となる資料（根拠図等）は作成しているか。					
		5) 赤黄チェック等による指摘内容に基づき、数量計算書を適正に修正したか。					
		6) 施工区分及び段階施工、暫定施工を考慮した数量計算書となっているか。					
		7) 工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。					
		8) 数量全体総括、工区総括、ブロック総括等、打ち合わせと整合し、かつ転記ミスや集計ミスがないか。					
		9) 使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。					
4	施工計画書	1) 施工方法、施工手順が妥当であるか。					
		2) 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。					
		3) 経済性、安全性（自動車、自転車、歩行者）が配慮されているか。					
		4) 工用道路、運搬路計画は適正か。					
		5) 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。					
		6) 暫定計画、完成計画との整合はとれているか。					
		7) 全体事業計画との整合が図られているか。					
		8) 関係法令を遵守した計画になっているか。					
		9) 施工に対する申送り事項が記載されているか。					
5	設計調書	1) 設計調書の記入は適正になされているか。					
		2) マクロ的に見て問題ないか。（設計条件、幾何条件、主要寸法、主要数量（例、m2当たりコンクリート量、m3当たり鉄筋量、m2当たり鋼重等）を類似例、一般例と比較する。）					
6	設計概要書	1) 設計概要書は作成したか。					
7	赤黄チェック	1) 赤黄チェック等により照査したか。					
8	報告書	1) 報告書の構成は妥当か。また、特記仕様書の内容を満足しているか。					
		2) 打合せや協議事項は反映されているか。					
		3) 設計条件の考え方が整理されているか。					
		4) 各種検討の経緯とその結果が整理されているか。					
		5) 今後の課題、施工上の申し送り事項及び工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
		6) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には出典図書名及びページを明記しているか。					
		7) 「電子納品要領（案）」に基づいて適正に作成したか。					
9	コスト削減	1) 実施したコスト削減効果は整理したか。					
10	建設副産物対策	1) リサイクル計画書を作成しているか。					
11	TECRIS	1) TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
			該当対象 該当対象項目を抽出し○印を記入	確認			
				照査を完了した項目について○印を記入	確認日 その日付を記入		

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入		
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。					
		2) 設計条件、施工条件は適正に反映されているか。					
		3) インプット及びアウトプットされた値は適正か。					
		4) 各検討設計ケースは適切か。					
		5) 計算結果は交通処理能力を満たすか。					
		6) 現況の渋滞状況を踏まえた交通量（超過交通需要等の考慮）で検討を行っているか。					
		7) 用、排水の系統及び通水断面に問題はないか。					
		8) 用、排水の流出量と通水量を照査したか。（道路詳細設計と整合）					
		9) 赤黄チェックによる指摘内容に基づき、設計計算書を適正に修正したか。					
		10) 図・表の表示は適正か。					
2	設計図	1) 打合せ事項は反映されているか。					
		2) 縮尺、用紙サイズ等は共通仕様書、または、特記仕様書と整合しているか。					
		3) 全体一般図等に必要項目が記載されているか。（設計条件、地質条件、現場制約事項等）					
		4) 工事にあたっての留意点を記載したか。					
		5) 起点・終点は適正か。					
		6) 施工に配慮した設計図となっているか。					
		7) レイアウト、配置、文字サイズ等は適切か。					
		8) 解り易い注記が記載されているか。					
		9) 交差点内の排水系統を確認したか。					
		10) 赤黄チェック等による指摘内容に基づき、設計図を適正に修正したか。					
		11) 図面が明瞭に描かれているか。（構造物と寸法線の使いわけがなされているか。）					
		12) 工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。					
3	数量計算書	1) 数量計算は、数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等）					
		2) 数量計算に用いた寸法、数値、記号は図面と一致するか。					
		3) 数量取りまとめは、種類毎、材料毎に打合せ区分にあわせてまとめられているか。					
		4) 数量計算の根拠となる資料（根拠図等）は作成しているか。					
		5) 赤黄チェック等による設計図修正に基づき、数量計算書を適正に修正したか。					
		6) 施工区分及び段階施工、暫定施工を考慮した数量計算書となっているか。					
		7) 工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。					
		8) 数量全体総括、工区総括等、打ち合わせと整合し、かつ転記ミスや集計ミスがないか。					
		9) 使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入		
4	施工計画書	1) 施工方法、施工手順が妥当であるか。					
		2) 施工に対する申送り事項が記載されているか。					
		3) 施工時の道路、河川等の切廻し計画は妥当か。					
		4) 経済性、安全性（自動車、自転車、歩行者）が配慮されている					
		5) 工事用道路、運搬路計画は妥当か。					
		6) 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。					
		7) 暫定計画と完成計画は整合がとれているか。					
		8) 全体事業計画との整合が図られているか。					
		9) 関係法令を遵守した計画になっているか。					
5	設計調書	1) 設計調書の記入は適正になされているか。					
		2) マクロ的（設計条件、幾何構造基準、主要数量等）に見て問題はないか。					
6	設計概要書	1) 設計概要書は作成したか。					
7	赤黄チェック	1) 赤黄チェック等により照査したか。					
8	報告書	1) 報告書の構成は妥当か。また、特記仕様書の内容を満足しているか。					
		2) 打合せや協議事項は反映されているか。					
		3) 設計条件の考え方が整理されているか。					
		4) 比較検討の結果が整理されているか。					
		5) 今後の課題、施工上の申し送り事項及び工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
		6) 設計基準値を技術指針等より引用している場合は、出典図書名及びページが明記されているか。					
		7) 「電子納品要領（案）」に基づいて適正に作成したか。					
9	コスト削減	1) 実施したコスト削減効果は整理したか。					
10	建設副産物対策	1) リサイクル計画書を作成しているか。					
11	TECRIS	1) TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
			該当対象 項目を抽出し○印 を記入	照査を完了した項目 について○印を 記入	その日付 を記入		